

# 平成31年度 学校経営計画 足立区立加平小学校

学校長 金泉 隆一

## 1 学校教育目標

人間尊重の精神を基本とし、心身ともに健康で知性と感性に富み、人間性豊かな児童の育成を目指し、次の三項目を教育目標とする。

- 思いやりのある子… 自分に自信をもち、友だちを大切にできる子
- よく考える子… めあてをもち、意欲的に学習する子
- たくましい子… あきらめない強い心とやり遂げる体力のある子

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

|         |  |
|---------|--|
| ○学校像    | ○子供が学びたくなる、明るく楽しい学校<br>○保護者や地域の方が通わせたい学校<br>○教職員が協働し、充実感と誇りのもてる学校  |
| ○児童・生徒像 | ○自分に自信をもち、友だちを大切にできる子<br>○めあてをもち、意欲的に学習する子<br>○あきらめない強い心とやり遂げる体力のある子   |
| ○教師像    | ○信頼し合い、認め合い、協力して指導に取り組む教師<br>○授業力向上のために、努力を惜しまない教師<br>○児童一人一人を大切に、確かな人権感覚を身につけた教師<br>○保護者や地域の思いや願いを受け止め、学校教育に生かす努力を惜しまない教師 |

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

○学校の現状について

・全校児童は513名。新1年88名が入学。17学級。特別支援教室に30名の児童が入室している。教職経験10年目未満の教職員が62.5%(内5年目まで25.0%)を占めている。常に共通理解のもと同一步調で統一した指導に努めている。経験豊かな先輩教員が増えてきたことにより、若手の教員を丁寧に指導する機会も増えてきている。問題解決型学習を基にした授業力の向上が課題である。PTAやPTAOB会、開かれた学校づくり協議会等、地域の方々に学校に寄せる熱い思いや期待は大きく、また、とても協力的である。児童数の増加に伴い、保護者の学校への思いや期待も変化してきている。本校の歴史と伝統を受け継ぎ、学校・保護者・地域の連携を強化しながら改革を進め、新生「加平の教育」を推進していく。

○前年度の成果と課題

### 重点的な取組事項ー1 学力向上

・区学力調査通過率 80%以上を目指してきた。結果 4月通過率は 82.5%で目標を達成することができた。9月再調査通過率 5ポイント増を目指して指導を積み重ねた。結果 6.5ポイント増の 89.0%を達成することができた。また、国語・算数の基礎的基本的な学力の定着 70%以上の児童 85%以上を目指してきた。結果、国語 89.6%、算数 91.7%、全体として 90.6%で達成できた。70%に達成していない 9.4%の児童を中心に児童一人一人の基礎的基本的な学力定着状況を把握して、90%以上達成に向けての努力を続ける。

### 重点的な取組事項ー2 基本的な生活習慣の確立

・挨拶、基本的な生活習慣の確立等を目指した取組は、成果をあげている。特に挨拶については、教員・PTAによる挨拶活動に加え、全児童による挨拶活動(通年)を実施し、定着を図ってきた。通年で取り組んだことは、大きな成果につながった。生活リズム向上等の基本的な生活習慣の確立に対する取組についても少しずつではあるが成果を上げてきている。「早寝」が大きな課題である。保護者会の場合やHP・学校だより等を活用して、保護者・地域の方への情報発信の方法をさらに工夫していくことが必要である。

### 重点的な取組事項ー3 体力・運動能力の確実な向上

・年間指導計画に基づき、体育の授業、食育・保健指導を通して児童の体力・運動能力の向上に努めてきた。体力テストの結果から特に、「投力」「ソフトボール投げ」「長座体前屈」に課題が明らかになった。各学年で「体力向上の手立て」を策定し取り組んでいる。体育的活動については、体育朝会の内容の見直しと計画的な実施、持久走や縄跳び等の取組方法の工夫を図り、保健指導・食育指導についても年間計画に基づき、養護教諭・栄養士と連携した指導を実践してきた。常にPDCA(計画→実践→評価→改善)のサイクルで改善し続けてきたことで成果を上げている。今後も常にPDCAサイクルを大切に取組の充実に努める。

### 重点的な取組事項ー4 豊かな心の育成

・「学校は楽しい」自己評価 95.9%で設定目標を達成した。今後も道德教育の充実、たてわり班活動、ふれあい月間、音楽集会・鑑賞教室等による心の教育の充実を図る。また、課外スポーツ活動、環境かるた・将棋大会・百人一首等の区のイベントに向けての練習や大会・イベントへの参加等、自分の得意なこと・好きなことに取り組める場を設定する。

### 重点的な取組事項ー5 幼・保・小・中の充実

・年間計画に基づき、幼・保・小・中の連携の充実に努めた。幼・保・小の連携については、近隣幼稚園との交流活動において小 1 プロブレムを意識して内容の改善を進めてきた。また近隣幼稚園・保育園の参観・意見交流を通して、発達段階における指導の違いを認めつつ、小学校への円滑な接続に向けての指導改善に生かすことができた。小中連携については、教科別分科会で、講師を招聘し、研究授業・協議会を通して、小中の学びの連続性と児童・生徒のやる気を引き出す工夫について学ぶことで指導力の向上に努めてきた。今後さらに小中教員が協働で指導法等の統一を目指し、授業研究を通して、授業力・指導力を互いに高めたいけるように努める。

| 4 重点的な取組事項 |                |      |    |    |    |    |
|------------|----------------|------|----|----|----|----|
| 番号         | 内容             | 実施期間 |    |    |    |    |
|            |                | 28   | 29 | 30 | 31 | 32 |
| 1          | 学力の向上          | ◎    | ◎  | ◎  | ◎  | ◎  |
| 2          | 望ましい学習・生活習慣の確立 | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 3          | 体力・運動能力の向上     | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 4          | 豊かな心の育成        |      | ◎  | ◎  | ◎  | ○  |
| 5          | 幼・保・小・中の連携の充実  | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  |

## 5 平成31年度の重点目標

| 重点的な取組事項－1   |   | 学力の向上   |
|--|---|---|
| A 今年度の成果目標   |   | 平成31年度区学力調査目標通過率と年度末の到達目標   |
| 基礎的基本的な学力の定着   |   | ○区学力調査目標値通過率<br>70%以上。<br>○年度末の到達日<br>通過率75%以上<br>(4月調査+5ポイント以上)。 |
| B 前年度の取組み内容  |   |   |
| 項目   | 具体的な方策  |   |
| 基礎的基本的な学力の定着   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○朝学習（週3回15分間）の実施（国語・計算・漢字等の学習）</li> <li>○放課後補充教室の実施 ・全教員による指導 ・担任による指導</li> <li>○サマースクール10日間実施 ○宿題の提出率調査（年3回）</li> <li>○そだち指導の充実（3・4年）</li> <li>○SP表の分析、改善策立案・実施、評価の実施（年3回）</li> <li>○課題に応じた指導法指導形態の改善</li> <li>○学力ポートフォリオを基に、個に応じた指導の充</li> </ul> |   |
| 家庭学習の習慣の定着   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○目標時間に応じた課題、宿題の提示</li> <li>○教師による家庭学習の確認の徹底</li> <li>○「家庭学習のてびき」等で保護者へ啓発</li> <li>○家庭学習実施状況調査（年3回）</li> </ul>  |   |
| C 前年度の成果と課題  |   |   |
| <p>○基礎的基本的な学力の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区学力調査目標値通過率 82.5%で設定目標を達成することができた。4月に結果分析を行い、改善策を作成し授業・補充教室等で実践してきた。9月の再調査 87.1%、12月の再調査で 89.0%と設定目標を達成した。</li> <li>・基礎的基本的な内容の定着が70%以上の児童 90.6%で設定目標を達成した。今後も通過率・定着率向上のため、児童一人一人の実態に応じた指導を充実させ、日々の授業改善、補充教室等の補充体制、指導内容等を見直し、学力向上を目指す。</li> <li>・サマースクール(夏季補充教室)では、全員が正答率 5%アップすることを目指したが、68.1%という結果となった。学年が上がるにつれて指導内容が多くなり、達成が厳しい状況であった。指導内容・体制・方法を見直し、70%以上の達成を目指す。</li> <li>・基礎的な漢字・計算等の定着は 91.5%で設定目標を達成することはできなかった。今後、朝学習や宿題の内容を改善し、定着率の向上を目指す。</li> </ul> <p>○家庭学習の習慣の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題の提出率は、93.5%で目標を達成した。児童への指導とともに保護者との連携を強化し、宿題の提出率90%以上の維持・向上を目指す。</li> <li>・家庭学習のめやす時間(低学年 20分以上・中学年 40分以上・高学年 60分以上)の定着は 86.7%である。今後も「家庭学習のてびき」を活用し、児童への指導とともに保護者との連携を強化し、自ら課題を設定して学習する自主学習の習慣化し、90%以上の定着を目指す。</li> </ul> |   |   |

| D 今年度の目標実現に向けた取組み               |      |        |
|---------------------------------|------|--------|
| 項目                              | 達成基準 | 具体的な方策 |
| 別紙<br>「平成 31 年度 学力向上アクションプラン」参照 |      |        |
|                                 |      |        |
|                                 |      |        |

**重点的な取組事項－2** 望ましい学習・生活習慣の確立

| A 今年度の成果目標     |  | 達成基準  |
|----------------|--|---|
| 望ましい学習・生活習慣の確立 |  | 進んで挨拶 80%以上 早寝 70%以上<br>早起き 90%以上 朝食摂食率 95%以上<br>学習状況満足度 85%以上  |
| B 目標実現に向けた取組み  |  |   |
| 項目             | 達成基準   | 具体的な方策  |
| 進んで挨拶          | ○挨拶できる:90%以上<br>○進んで挨拶できる:80%以上                        | ○児童による挨拶活動実施(通年)<br>○PTA・開かれた学校づくり協議会による挨拶活動実施(年2回)<br>○学級指導・道徳授業の充実。<br>・挨拶・返事の指導の徹底(毎日)<br>○学校関係者による評価実施(年3回) |
| 生活習慣の定着        | ○早起き:90%以上<br>早寝:70%以上<br>朝ご飯:95%以上<br>ゲーム・テレビ視聴:80%以上 | ○生活習慣強化週間の設定(年3回)<br>○保護者会・個人面談・学校だより等で保護者を啓発   |
| 意欲的な学習         | ○学習状況満足度:85%以上   | ○学習状況満足度調査実施(年3回)<br>○調べ学習で学校図書館・パソコン室活用<br>・活用実績調査実施(年2回)  |

**重点的な取組事項－3** 体力・運動能力の確実な向上

| A 今年度の成果目標    |  | 達成基準  |
|---------------|--|---|
| 体力・運動能力の確実な向上 |  | ○東京都体力・運動能力調査で、全種目で全国平均値に近づける。<br>○1日1時間以上外遊び・運動する児童<br>85%以上。  |
| B 目標実現に向けた取組み |  |   |
| 項目            | 達成基準   | 具体的な方策  |
| 体育科の指導技術の向上   | ○校内研修会実施(年2回)                                  | ○体育主任を中心にした体育部や外部講師等を活用した研修会の実施   |
| 体育的活動の充実      | ○縄跳び:全員自己目標達成<br>○持久走:全員自己目標達成<br>○体育朝会年5回以上実施 | ○縄跳び・持久走の取組、<br>○体育朝会の計画的な実施と実施方法の工夫・改善   |
| 遊びや運動の日常化     | ○外遊び・運動:85%以上                                  | ○外遊び・運動時間調査(年3回)<br>○ロングの外遊びの実施(月1回)  |
| 食育・保健指導の充実    | ○食育・保健に関する授業<br>各学年2回以上実施                      | ○担任と養護教諭・栄養士の連携授業<br>・保健授業(3年以上各1回以上)<br>・食育指導(各学年1回)<br>○発育測定時の保健指導実施<br>○歯みがき指導の実施<br>・養護教諭による(2年以上各1回)<br>・歯科衛生士との連携による(1年1回)<br>○ランチルーム給食時の食育指導実施<br>・栄養士による(各学年2回以上) |

| 重点的な取組事項－4       |  | 豊かな心の育む  |
|------------------|--|--|
| A 今年度の成果目標       |  | 達成基準   |
| 自己肯定感・思いやりの心を育てる |  | ○児童・保護者・地域のアンケートで「楽しく学校生活を送っている」90%以上                                      |
| B 目標実現に向けた取組み    |  |  |
| 項目               | 達成基準                                     | 具体的な方策   |
| 自己肯定感の向上         | ○楽しく学校生活を送っている学校が楽しい<br>90%以上            | ○ふれあい月間の取組(年3回)<br>○道徳授業の充実<br>「思いやり・親切」「人権尊重」での公開授業実施(年1回)<br>○全校朝会で活躍の賞讃 |
| 思いやりの心の育む        | ○異学年活動や児童会活動は楽しい<br>90%以上                | ○全校遠足(年1回)<br>○縦割り班遊び実施(年5回)<br>○クリーン作戦実施(年1回)<br>○人権メッセージ等人権尊重の取組         |
| 読書や歌に親しみ、豊かな心を育む | ○進んで読書をする<br>80%以上<br>歌をしっかりと歌う<br>80%以上 | ○読書タイム実施(10分間 週5回)<br>○読書旬間実施(年3回)<br>○音楽朝会実施(年8回)<br>○音楽鑑賞教室実施(年1回)       |

| 重点的な取組事項－5    |                               | 幼・保・小中の連携の充実  |
|---------------|-------------------------------|---|
| A 今年度の成果目標    |                               | 達成基準  |
| 幼・保・小・中の連携の充実 |                               | 指導案検討会・研究授業、幼児・児童・生徒の情報交換会、交流研修等 年8回以上  |
| B 目標実現に向けた取組み |                               |   |
| 項目            | 達成基準                          | 具体的な方策  |
| 教員の交流研修       | ○近隣保育園との交流研修<br>○保育参観(全教職員参加) | ○近隣の保育園との交流研修<br>○全教職員による公開保育参観   |
| 児童、園児の交流      | ○1年生が交流活動を実施<br>○行事への招待       | ○園児の給食体験と1年生との交流活動<br>○行事への招待   |
| 小中連携研修        | ○課題解決型授業展開の充実を目的とした研究会実施(年8回) | ○全体会(年2回)<br>・講師を招聘しての学習会(年1回)<br>○研究授業 各分科会(年6回)<br>・指導案検討(年3回)<br>・講師を招聘した研究授業(年3回) |
| 児童の中学校体験活動    | ○中学校体験活動(年2回)                 | ○児童の授業体験、部活動見学実施  |